



山田市政始動！

10月23日、任期満了に伴う白石市長選挙が行われ、即日開票の結果、山田裕一さんが初当選を果たしました。11月14日から第17代白石市長に就任した山田市長の市政への基本方針を紹介します。

「市民とともに、笑顔あふれる白石を創ります」

私は、この度の市長選挙において、多くの市民の皆さまのご信任を賜り、今後4年間、白石市のかじ取り役を担わせていただくことになりました。

現在の地方自治体を取り巻く環境は、人口減少の進展や多様化する住民ニーズなどから一層責任ある行政運営が求められています。白石市においても同様であり、解決しなければならぬ課題が山積しています。それらの課題の一つひとつを解決するには、市民の皆さまの協力と支援が必要です。白石市民の「チカラ」を一つにして、市民とともに新しい時代を創り上げてまいります。

私は、白石の将来を考えたとき、教育は最も重要だと考えます。地域格差が教育格差とならないよう教育環境の整備を

積極的に行います。子どもにとって最善の教育環境は何かを第一に考え、日本一の教育先進都市「子育てするなら白石市」を目指します。

現在、どんな事業を行うにも、白石市単独で事業を行うことが大変厳しい時代となっております。これまで同様、国や県からの補助金などを活用しながら事業を行っていくとともに、近隣自治体とは可能な分野からこれまで以上の連携を図り行政サービスを向上させてまいります。

また、まちづくりは行政だけがやるものではありません。PPP（官民が連携して公共サービスの提供を行うスキーム）やPFI（民間の資金とノウハウを活用し効率的・効果的な公共サービスを提供するPPPの一手法）などを活用し、地域に根差した公共施設の活性化を図る

とともに、市民・行政・企業・大学などの研究機関が一体となったまちづくりを推進します。

私は、約10年間の市議会議員時代に、多くの国会議員の方々や全国の地方議員の方々、そして経済界の方々や確固たるつながりや協力関係を築き上げることができました。これまでに培った経験と人脈をフルに活用し、選挙戦で掲げた公約を実現いたします。自らが白石市のトップセールスマン・広告塔として国内外に積極的に白石市をPRします。そして、取り組む課題には優先順位をつけ、必要なものにはしっかりと予算を充てながら、徹底的に無駄を省いた予算を編成します。さまざまな施策を通じて地域経済を活性化させるよう努めてまいります。

宮城県内最年少の首長として、若者らしく失敗を恐れず、精一杯全力で働いてまいります。私を初めとする市民の皆さまが愛してやまないこの白石を笑顔あふれる「住みたくなるまち」「住み続けたいまち」に創り上げてまいります。

山田 裕一 市長

Mayor : Yuichi Yamada

【プロフィール】

昭和50年11月17日生まれ

平成6年3月 宮城県白石工業高等学校 電気科卒業

平成19年4月～平成28年8月 白石市議会議員選挙当選（連続3期）

平成24年5月～平成25年5月 白石市立東中学校 P T A 会長

平成25年5月～平成26年5月 白石刈田地区 P T A 連合会 会長

平成26年1月～平成26年12月 公益社団法人 白石青年会議所 第43代理事長



▲11月14日に初登庁した山田市長



▲市職員を前に就任あいさつをする山田市長